

## 野菜花き 10月上旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 10月7日、9日、10日、11日

### 1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫期であった。病害の発生はみられなかったが、ハモグリバエ類の寄生葉が全株でみられた。また、オオタバコガによる被害果が、前回調査時よりも増え、中発生であった。

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は収穫期であった。すすかび病の発生が全株でみられ、うどんこ病の発生がわずかにみられた。虫害ではハモグリバエ類の寄生が全株でみられ、オンシツコナジラミの寄生株率、寄生葉率は前回調査時よりも低く、少発生であった。

### 2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は収穫期であった。うどんこ病、べと病の発生が多く、発病株率が高かった。また、引き続き褐斑病の発生もみられたが、少発生であった。虫害では、オンシツコナジラミの寄生株率が平年と比べ高かった。

### 3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、前回同様にアザミウマ類の発生がみられたが、寄生花率は前回調査時より、かなり低かった。また、ハダニ類の寄生株率、寄生頭数も前回調査時より低かった。病害の発生はみられなかった。

### 4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は結球期であった。病害の発生はみられなかったが、ウワバ類等チョウ目害虫による被害株率が平年と比べ高かった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であった。黒腐病の発生がやや多く、チョウ目害虫による被害株率が高かった。

軽井沢町の巡回ほ場は結球期であった。株腐病の発生がみられたが、発生量は少なかった。虫害ではチョウ目害虫の被害株がみられたが、少発生であった。

御代田町の巡回ほ場は結球期であった。病害の発生はみられなかったが、チョウ目害虫の被害株率が高かった。

長野市の巡回ほ場は収穫期であった。黒腐病の発生が多かった。株腐病の発生は少発生であったが、平年と比べるとやや多かった。虫害では、チョウ目害虫の被害株率が高かった。

### 5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は収穫期であった。チョウ目害虫の発生がみられたが、少発生であった。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は収穫期であった。べと病の発生がやや多かった。黒腐病の発生もみられたが、少発生であった。虫害の発生はみられなかった。

### 6 はくさい

上田市の巡回ほ場は結球期であった。ピシウム腐敗病の発生がみられたが、わずかであった。虫害では、チョウ目害虫の被害株がみられ、発生量は平年と比べやや多かった。

小諸市の巡回ほ場は結球期であった。白さび病（図1）、白斑病の発生がみられ、発生量は平年と比べやや多かった。虫害ではチョウ目害虫の被害株がみられたが、わずかであった。

小海町、南牧村の巡回ほ場は、いずれも結球期であり、チョウ目害虫の被害がみられ、発生量はやや多かった。病害の発生はみられなかった。



図1 ハクサイ白さび病（小諸市）

## 7 レタス

上田市の巡回ほ場は、作付け終了であった。

小諸市、御代田村の巡回ほ場は結球期であった。いずれのほ場でも、すそ枯病、斑点細菌病の発生がみられ、平年と比べ発病株率が高かった。虫害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。斑点細菌病の発生がみられ、平年と比べ発病株率が高かった。虫害の発生はみられなかった。

飯綱町の巡回ほ場は、作付け終了であった。

## 8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は立茎繁茂期であった。茎枯病の発病株率、発病度は平年と比べ高かった。虫害では、前回調査時と同様にアザミウマ類の寄生株率が100%であった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ施設栽培）は立茎繁茂期であった。茎枯病の発生がみられたが、少発生であった。斑点病の発生がみられたが、わずかであった。虫害では、ハスモンヨトウの被害株が多かった。

中野市の巡回ほ場（雨よけ施設栽培→被覆資材除去）は立茎繁茂期であった。茎枯病の発病株率、発病度は、前回調査時よりやや高かったが、少発生であった。虫害では、アザミウマ類、ハダニ類の寄生がみられ、寄生株率が高かった。また、チョウ目害虫（ハスモンヨトウ）の寄生がわずかにみられた。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は立茎繁茂期であった。茎枯病の発病株率、発病度が高く、斑点病の発病株率が前回調査時より高かった。虫害では、チョウ目害虫（オオタバコガ、ハスモンヨトウ）の寄生がみられ、平年と比べやや多かった。

## 9 ながいも

長野市の巡回ほ場では生育期であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

## 10 きく

佐久穂町の巡回ほ場は作付け終了であった。

### 【中南信】 巡回日 10月7、9、10、11日

#### 1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・抑制栽培）では、収穫中であった。葉にコナジラミ類（少～中発生）の寄生がみられた。

#### 2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・抑制栽培）では、収穫中であった。葉にうどんこ病（少発生）の発生がみられたほか、花にアザミウマ類、葉にオンシツコナジラミ（いずれも少発生）の寄生がみられた。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫が終了していた。

#### 3 キャベツ

茅野市（収穫終了のためほ場変更）および朝日村の巡回ほ場では収穫期、塩尻市（収穫終了のためほ場変更）の巡回ほ場では結球期であった。茅野市では、外葉にウワバ類（少発生）、結球部にオオタバコガ（少発生）の寄生がみられた。朝日村では、軟腐病による株の腐敗（少発生）がみられたほか、結球部にオオタバコガ（少発生）の食入がみられた（図2）。塩尻市では、病害虫の発生はみられなかった。

#### 4 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場では収穫期であった。外葉にコナガおよびウワバ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

#### 5 はくさい

木祖村および朝日村（収穫終了のためほ場変更）の巡回ほ場では、収穫期であった。朝日村では、軟腐病による株の腐敗（少発生）がみられたほか、結球部にオオタバコガ（少発生）の食入がみられた。

木祖村では、病害虫の発生はみられなかった。

#### 6 レタス

塩尻市洗馬、塩尻市片丘および朝日村の巡回ほ場では、いずれも収穫期（塩尻市洗馬のみ収穫終了によりほ場変更）であった。塩尻市洗馬では、斑点細菌病（中発生）および軟腐病（少発生）の発生がみられた。朝日村では、外葉に斑点細菌病（少発生）がみられたほか、結球部にオオタバコガ（少発生）の食入がみられた。塩尻市片丘では、病害虫の発生はみられなかった。



図2 キャベツのオオタバコガ（朝日村）

## 7 セルリー

原村の巡回ほ場では収穫期、松本市の巡回ほ場では収穫前であった。いずれのほ場でも、病害虫の発生はみられなかった。

## 8 アスパラガス

豊丘村、飯島町、池田町のいずれの巡回ほ場も株養成中であった。いずれのほ場でも、茎枯病（いずれも中発生）の発生およびアザミウマ類（少発生・少発生・多発生）の寄生がみられた。また、豊丘村では前回同様ハダニ類が甚発生（高密度）であったほか、池田町では擬葉に斑点病（少発生）、茎内部にハスモンヨトウ（少発生）の寄生がみられた。

## 9 ねぎ

豊丘村の巡回ほ場では8.5葉、山形村の巡回ほ場では10.0葉であった。病害では、いずれの巡回ほ場においても、黒斑病が依然として多発状態であった。虫害では、いずれのほ場においても、アザミウマ類およびネギハモグリバエ（いずれも多発生）、ネギコガ（中発生・少発生）の寄生が前回同様に多く、また、豊丘村ではハスモンヨトウ（少発生）の寄生もみられた。

南箕輪村では、収穫が終了していた。

## 10 ながいも

山形村の巡回ほ場では、生育中であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。